

## タイトル: 居場所の輪

### ゴール:

このアクティビティを通じて、誰といるときに居場所を感じるかがわかります。必要なときに誰の元へ頼りに行くべきかがわかり、より親密な絆を育みたいのは誰なのかがわかるでしょう。



### 用意するもの:

マーカーやペン、絵具、クレヨンなど  
(任意) フラフープや砂、小石などなんでも  
配布資料

### 前書き:

帰属意識を持つということ、抽象的な感覚でなくて良いのです。所属するグループ(居場所の輪)の数を数えたり、愛されていると感じる人々に名前やタイトルを付けることで可視化することができます。

### ステップ:

輪(丸)を作るための材料を集めます。紙に丸を書いても良いですし、外へ出て石や砂、縄跳びやフラフープで丸をいくつか作るのも大丈夫です。アクティビティの説明をします。いくつかのグループとかわりがあるかを子ども達に数えてもらいます。イメージが湧かない場合もあると思うので、家族、友達、学校、習い事、親戚、よく行く公園で会う人など、いくつかヒントを出してサポートしてあげましょう。まず最初に、自分を描いたり創ったりしてもらいます。次に、1つ目の輪(丸)を付け足してそれに名前を付けます。(例:「家族」や「ママ・パパ・妹」など)その後も輪(丸)を思いつくままに加えていきます。一番身近に思い浮かぶところから始めて、様々なグループの丸をどんどん増やし、どんどん大きな丸を描いていきます。(任意)グループを描き進めて行く中で、もし書けたら、グループ名の近くにその人々へ対する気持ちを書き添えてみましょう。そして、「紙の中に書いたグループの1つをシェアしてみてください」と伝えましょう。(例:水泳教室:強い、家族:愛されているなど)そして、それぞれの輪を、感情語やイラストや造形で表してみます。できるだけたくさんの輪に挑戦していきます。もし子ども達の心理的安全性が確保されていて、嫌でなければ、子ども達がパートナーや小さなグループの中で、作品を共有する時間を作りましょう。

### こんな投げかけをしてみましょう:

どんな時にその人たちが自分を愛していると感じる?それについて自分はどんな風に感じる?  
どんな時に誰のことを頼りにする?例えば、ハグしてもらいたいときは?宿題手伝ってもらいたいときは?  
誰といる時に一番自分らしくいられる?他の人という時にも、より「自分らしく」いるには、何が必要?  
誰ともっと仲良くなりたい?仲良くなるために、どんなことができそう?

